

雑感（校長室から）NO. 73

週末は不安定な天気で、昨日兵庫県北部の香美町では、雹（ひょう）が降ったとニュースで報じていました。雹は直径5mm以上の氷の塊で、直径5mm未満の場合は霰（あられ）と呼ぶそうです。兵庫県の南部でも、晴れ間が出ていたと思えば急に雨が降り出すなど、変化が激しい空模様でした。先月から今月にかけて、土曜日、日曜日に雨が降るケースが多く、屋外での部活動では、多少影響が出ているのではないのでしょうか。

さて、先週金曜日に1年次生のオリエンテーションが、校内で一日かけて行われました。昨年度は中止、それまでは校外において泊付きで実施していました。2時間目に講堂で行われたクラス代表生徒により「夢を語る」を見学しました。各クラス2名ずつが、将来なりたい自分について発表しました。パテシエや学校の先生など、高校1年次生にとっては馴染み深い職業名を挙げている生徒が多かったように思いました。

感心したことの一つ目は、どの生徒も1年次生徒全員の前で、堂々とした態度で発表していたことです。何名かの生徒は、原稿を見ず顔をあげてスピーチをしていました。全体的に入学してわずか一週間余りとは思えないような発表ぶりでした。そして二つ目は、スピーチ後に、発表を聴いていた側から積極的に質問が出ていたことです。疑問に思ったことについて、大勢の前でも質問しやすい雰囲気だったことが、そのことにつながったのでしょうか。今回のように、発表者と聴く側が一体となるような雰囲気を、年次としてずっと持ち続けてほしいと思います。

「夢を語る」の「夢」は現時点で考えている自分の将来についてです。総合学科の1年次では「産業社会と人間」を中心に、自己の将来について自覚を深めていく機会がたくさんあります。自分について知り、社会について学び、様々な情報から自己の将来について考えていってください。「夢」を目標に変え、自己実現を図っていくためには、何事にも主体的に行動する姿勢が不可欠です。今回の発表会から、21期生もこれからの高校生活の取組に対して、大いに期待ができると感じました。

